

SDGsの達成に向けた具体的な取組みチェックリスト

作成日	令和5年8月30日
事業者名	日本トムソン株式会社
形態	大企業等

	達成率	基準の達成
ガバナンス	100.0%	○
環境	77.8%	○
社会	91.3%	○
経済	100.0%	○
合計	90.0%	○
総合判定		○

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
1 ガバナンス	管理体制	経営理念	・経営理念及び経営目標にSDGsの理念やゴールを取り入れており、かつ従業員に共有している	○ 8, 9
		組織体制	・CSR活動に関する方針・取組みを定めている	○ 17.16, 17.17
			・リスクを特定し、資産・活動を保護するための方針・対策を定めている	○ 16
		法令遵守	・法令遵守(コンプライアンス)に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○ 4.4, 16.5, 16.7, 16.10
			・法令遵守(コンプライアンス)に関する従業員への研修を実施している	○ 16
		情報セキュリティ	・情報セキュリティに関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○ 4.4, 16.10
			・情報セキュリティに関する従業員への研修を実施している	○ 16
		個人情報	・個人情報保護に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○ 16.10
		事業継続	・事故、災害、感染症などの発生時におけるBCP(事業継続計画)を策定している	○ 1.5, 11.5, 13.1
		情報公開	・環境情報、社会貢献活動などの情報をホームページ等を活用し対外的に公開している	○ 17.16, 17.17

10

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
2 環境	自然環境	生物多様性	・事業活動が生物多様性に与える影響を把握し、その対策を定めている	○ 6.6, 15.1-15.5, 15.8
			・生物の生息地、希少種・在来種の保全のため、地域に適した植林・植樹、里山保全活動等の活動を実施している	○ 6.6, 14.1, 15.4, 15.5, 15.8
		天然資源の持続的利用	・天然資源の保全に配慮された、認証製品の利用を進めている(森林資源:FSC認証、パーム油:RSPO認証、ゴム:FSC認証、RSPO認証、コーヒー:レインフォレスト等、天然水産物:MSC認証、養殖海産物:ASC認証等)	× 12.2, 14.4, 15
	循環型社会	3R	・事業活動において使用・廃棄する紙の削減、再利用、再資源化を進めている	○ 11.6, 12.3-12.5
			・事業活動において発生するプラスチックごみの削減、再利用、再資源化を進めている	○ 11.6, 12.3-12.5
		環境汚染予防	・自社の廃棄物の種類・量を把握しており、その削減に向けた目標がある	○ 6.3, 11.6, 12.3-12.5
			・自社が利用する有害化学物質の種類、量を把握し、適切に管理している	○ 6.3, 11.6, 12.3-12.5
		水	・水源を含む水の使用状況を把握し、使用量の削減に向けた目標がある	× 6.1, 6.4
	脱炭素	温室効果ガス	・燃料の燃焼等による自社の温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の直接的な排出量(スコープ1)を把握している	○ 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
			・燃料の燃焼等による自社の温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の直接的な排出量(スコープ1)の削減に向けた目標がある	○ 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
			・他者から供給された電力・熱エネルギーの使用による温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の間接的な排出量(スコープ2)を把握している	○ 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
			・他者から供給された電力・熱エネルギーの使用による温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の間接的な排出量(スコープ2)の削減に向けた目標がある	○ 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
			・脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの削減目標があり、排出の抑制に取り組んでいる。	○ 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
			・カーボン・クレジット(J-クレジット制度等)を購入し、カーボンオフセットに貢献している	× 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
		省エネ	・自社の使用電力量を把握しており、その削減に向けた目標がある	○ 7.3, 8.4, 9.4, 13.3
			・省エネに向けた取組みを実施している(事業所のLED化、エネルギー効率の高い設備の導入等)	○ 7.3, 8.4, 9.4, 13.3
	再生可能エネルギー		・再生可能エネルギー、グリーン電力を導入している(太陽光発電パネルの設置、水力・地熱・風力・バイオマス、水素エネルギー等の発電による電力購入等)	○ 7.2, 9.4, 13.3
			・事業所の使用電力のうち31.5%※以上を再生可能エネルギーで賄っている ※岐阜県エネルギービジョン目標値 再エネ電力比率31.5%(2025年度)	× 7.2, 9.4, 13.3
その他		・環境に資する取組み()	自由記載 非加点	

14

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
1 社会	人権	差別の禁止 ・人権尊重、差別の禁止に関する方針を企業理念や社内規程(就業規則等)に定めている	○	5、8.5、8.8、10.2、10.3、16.7 
2		ハラスメント禁止 ・ハラスメント(セクハラ、マタハラ及びパワハラ等)の禁止を社内規程(就業規則等)に定めている	○	5.1、5.2、8.8、10.2、10.3、16.1 
3		・ハラスメント(セクハラ、マタハラ及びパワハラ等)を防止するための取組みを実施している(研修の実施、相談窓口の設置等)	○	5.1、5.2、8.8、10.2、10.3、16.1 
4	労働慣行	労働安全衛生 ・労働安全衛生の方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○	8.8 
5		公正な待遇 ・正規雇用者と非正規雇用者の職務内容と責任度合いを把握し、賃金・福利厚生等の待遇の基準を明確化している	○	8.5、10.4 
6		・面談、ヒアリング、アンケート等、年1回以上、従業員とのコミュニケーションの機会を設けている	○	8.10.4 
7		労働時間 ・適切な労働慣行の実現に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○	3.4、8.5 
8		・過去1年間において、常用従業員(パートタイム労働者を含む)1人あたりの所定外労働時間が月10時間以下であり、月45時間以上の従業員がゼロである	×	8
9		有給取得 ・過去1年間において、期間を定めず雇われている労働者(パートタイム労働者を除く)の年次有給休暇の取得率が55%以上である	○	3.4、8.5
10		人材育成 ・職務、役割等に応じた従業員への研修等が実施されている	○	4.4、4.5、8.5、8.6
11		健康経営 ・従業員の健康維持のための具体的な取組みを実施している(定期健康診断の実施と診断結果のフォロー、健康増進に向けたイベント開催等)	○	3.4、3.8
12		女性の活躍 ・女性管理職(課長相当職以上※役員を除く)比率、女性採用比率の目標を設定している	○	4.5、5.4、5.5、8.5
13		・女性管理職比率が産業別平均値を超えており、当該女性の育児休業取得の促進、子連れ出勤等、仕事と育児の両立に向けた取組みを実践している	×	4.5、5、8.5
14		・男性女性の育児休業取得の促進、子連れ出勤等、仕事と育児の両立に向けた取組みを実践している	○	5、8
15		・女性のキャリアアップに向けた研修・セミナー等、女性の活躍に向けた取組みを実践している	○	4.5、5、8.5
16	ダイバーシティ・インクルージョン	・高齢者が活躍できる環境づくりを進めている(安全確保のための設備の導入、職場環境の改善等)	○	8.8、10.2
17		・障がい者が活躍できる環境づくりを進めている(安全確保のための設備の導入、職場環境の改善等)	○	8.5、10.2
18		・外国人を雇用しており、当該外国人材が活躍できる職場環境づくりを進めている(外国人社員の日本語能力向上支援、宗教や食文化への対応等)	○	10.2
19		勤務形態 ・リモートワーク、フレックスタイム等を導入し、柔軟な勤務形態(場所・時間)を認めている	○	5.4、8.2
20	社会貢献	地域貢献 ・地域の自治体やコミュニティ(自治会等)と交流する機会を設けている	○	11、12.8、17.16、17.17
21		・地域に貢献する活動(寄付、地域の防災・清掃活動等)を実施している	○	11、12.8、17
22		・地域の次世代を担う人材育成(子供たちへの就業体験、キッズスクール等)を実施している	○	4、11、12
23		SDGsの普及啓発 ・地域社会に向けてSDGsの普及啓発(講演、講習等)や情報発信(ホームページ、SNS等)を展開している	○	11、12.8、17.16、17.17
その他		・社会に資する取組み()	自由記載 非加点	

21

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
1 経済	公正な事業慣行	公正な競争 ・不正な競争・取引の禁止、汚職・贈収賄の禁止を社内規程(就業規則等)に定めている	○	16.4、16.5 
2		知的財産保護 ・知的財産権を侵害しないよう、適切に対応している	○	16.4、16.5 
3		サプライチェーン管理 ・取引先に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請している	○	9.3、12.3、12.4 
4	製品・サービス	製品・サービスの安全性と品質 ・製品安全に関する方針・目標・組織体制・基準等を定めている	○	9、12 
5		環境配慮 ・製品・サービスにおいて、環境への負荷軽減に配慮している(CO2の削減、省エネ、廃棄物の削減、リサイクルしやすい製品設計等)	○	6、7、9、12、13、14、15 
6		社会課題解決 ・製品やサービスにおいて、社会課題解決を考慮している(人手不足の解消、地域の活性化等)	○	8、9、11 
7		地産地消 ・地元の原材料、製品、サービス等を優先的に活用している	○	12.8、12b
8		DX(デジタル・トランスフォーメーション) ・デジタル技術を活用し、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる	○	8、9、11、12
9		パートナーシップ ・異業種連携により、新たなビジネスや付加価値の創出に取り組んでいる	○	17
その他		・経済に資する取組み()	自由記載 非加点	

9